ダイヤモンド研磨技術をフルに活用

ダイヤモンドの持つ優れた潤滑性を最大限に活かした

ダイヤモンドコイリングピン

金属バネを製造するコイリングマシンの重要な部品である『コイリングピン』。

従来のコイリングピンは超硬材料で製作されているが、線材／コイリングピン間の様々な不具合を解消するため、SNDはダイヤモンドを用いたコイリングピンの製品化に成功した。ダイヤモンドの特性により、耐摩耗性に優れ長寿命であることに加え、同社のダイヤモンドの精密研磨技術で鏡面に仕上げられたダイヤモンドコイリングピンの溝は、低摩擦により摺動性も高く、従来の超硬コイリングピンで発生していた金属の焼き付け及びツールマークによる傷等の問題が発生しない。これらの特性により、バネ形状の安定化及び製品精度の向上を実現する。バネの用途は、自動車・医療・文房具・半導体など。

同社のダイヤモンドコイリングピンは、あらゆるメーカーのコイリングマシンに取り付け可能。あらゆるマシン、サイズでも対応できるダイヤモンドコイリングピンを製作する。

ダイヤモンド研磨技術をフルに活用した同社のコイリングピンをぜひ検討してみてはいかがだろうか。

※対応線材サイズ：線径φ0.04mm～φ4.0mm

導入事例

- 難加工が必要とされる医療用カテーテルの内部バネの生産
- SUS線バネ（被膜なし）、プラチナ線、その他難加工材を使ったバネの生産
- 難形状バネ（バネ指数 D/d = 4.0 以下）の生産
- 様々な精密バネの生産

株式会社SND

ホームページ ▶ https://www.ind-dia.com/

ダイヤモンドコイリングピン　検索